

# 太平洋クロマグロ2017年生まれ 加入量モニタリング速報 (第2報 2017年12月)

国立研究開発法人  
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 島根県隠岐諸島周辺における、曳縄モニタリング船\*の9月から11月の間の操業について、CPUE(漁獲努力量当たり漁獲尾数)を日本海生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2017年における曳縄モニタリング船CPUEは、2013年～2016年平均の349%、前年比222%であった。
- 2017年の日本海生まれの加入量は、これまでの調査期間(2013年～2016年)の中では高水準である可能性が高い。

※: 隠岐諸島周辺におけるモニタリングは、2013年から開始し、2017年は23隻の操業データを使用している。

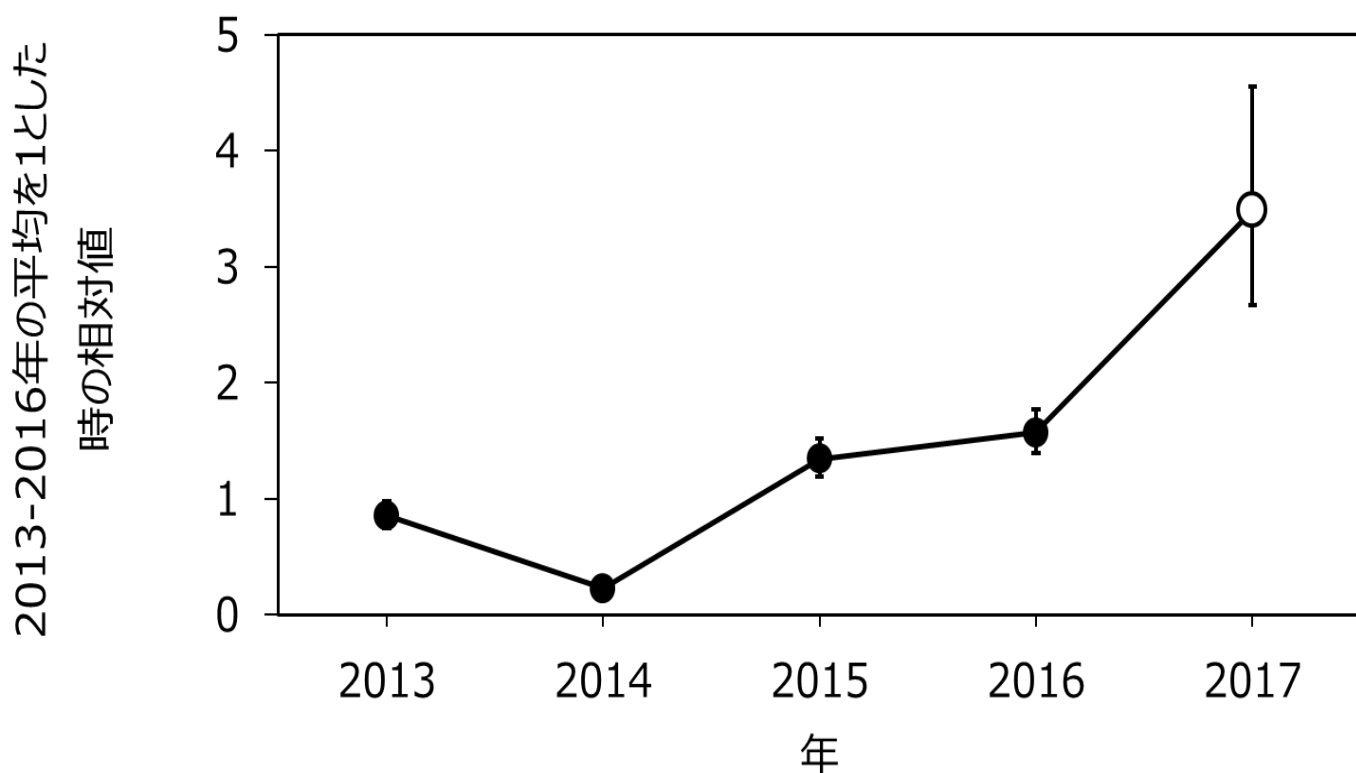


図. 2013～2017年の9-11月の曳縄モニタリング船CPUEの相対値。  
図中の垂線は95%信頼区間。